

キリスト教系酒楽の調査及び現代における集落の提案

～長崎県五島市奈留島対象として～

はじめに

古来より、地縁、血縁、産業、宗教など様々な要因に拠る共同体が存在するが、中でも宗教において信仰が繋ぐ共同体はとて強い結びつきである。長崎県五島市は潜伏キリシタンを先祖に持つ地域であるが、その中でも奈留島は弾圧や迫害が比較的になされず、同じ島に住む仏教信者らとも良好な関係を築きながら現代まで信仰が続いている。地域コミュニティの崩壊などといった言葉がきかれる現代において、奈留島における共同体の持続のあり方は、ひとつの示唆になるのではないかと考えた事がこの研究のきっかけである。

2. 研究目的

長崎県五島市奈留島の江上集落・南越集落・葛島集落様の3つのキリスト教系集落を研究対象とする。各集落の住まい方・生業・信仰を背景に、集落は何によって形成され、いかにして現在まで継承してきたかを調査する。また、各集落の特質や問題点を把握し、人がなんらかの形でその場に関わり続け、住み続けることができる現代の離島集落の存続のあり方を提案する。



2-2 研究方法・対象

長崎県五島市奈留島の教会堂及び教会跡地が現存する江上・南越・葛島集落を対象にする。(図2) 1 ヒアリング 江上集落住民2人、南越集落1人、元葛島民3人に協力頂き集落内の使われ方や当時の様子について現地調査を行った。加えて、史料や当時の写真などからヒアリングによる住戸、教会堂の図面作成を行い機能や変遷などを明らかにした。 2 実測 集落の一部とその住戸の簡単な実測を行った。



3. 奈留島について

3-1 奈留島概要

長崎県五島市奈留島は五島列島の中心に位置し、面積は約24km²で人口約2800人の自然豊かな島である。また、岬の突出が多く複雑に入り組んだ海岸や静かで深い湾を擁するため、自然な良港が形成されているのに、地上の交通手段は不便なものとなっている。古くから漁業を中心とした半農半漁で、現在では、耕作面積が狭く手入れがしにくい事から耕地が放棄され、自家消費用の野菜の栽培が多く行われている。漁業に関しては、まき網漁、一本釣り漁、養殖業が主な産業である。現在は、人口流失からの空き家や耕作放棄地などが問題されている。



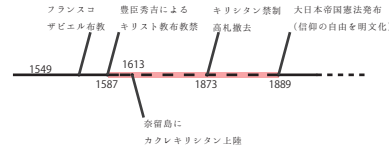
[仏・キリスト教系集落]

奈留島の集落は、仏教や神道を信仰していた先住者の集落(地下集落)と本島のキリシタン弾圧から逃れて奈留島に移住したキリスト教系集落(居付き集落)の大きく分けて2つに分けられる。仏教系集落は便利で豊かな平地や漁の多い海岸に形成され、キリスト教系集落は斜面地に面した細い浜辺や複せ地、外海側に散在していた。



[日本のキリシタン年表]

キリスト教系集落の中でも、明治憲法で「信仰の自由」が保障された後の対応が各集落で異なった。

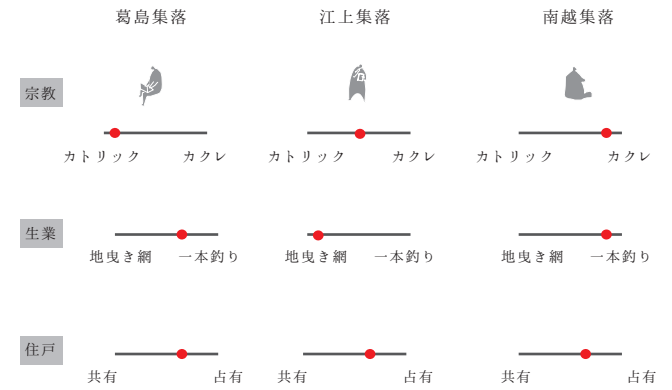


[奈留島の信仰の距離 / 明治期の禁教が解かれた後の各集落の反応]

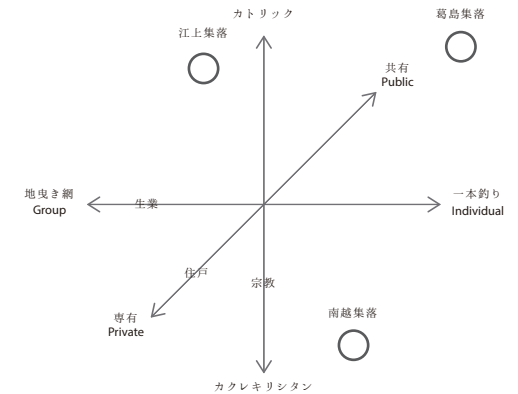
キリスト教系集落の中でも、明治憲法で「信仰の自由」が保障された後の対応が各集落で異なった。自分たちの先祖はそもそも隠れていたと主張する葛島、禁教が解かれすぐにカトリックに戻った江上集落。禁教が解かれた後もカトリックと仏教や神道が混ざった土着の信仰(カクレキリシタン)を続けるが信者が減少し、信仰を続けるのが難しくなった為、不本意ながらカトリックに戻った南越集落の3つに分けられる。



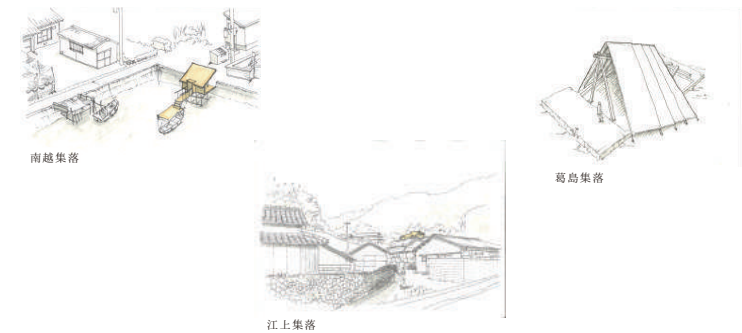
[3つの集落の特徴]



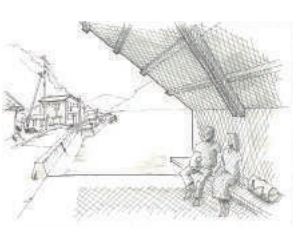
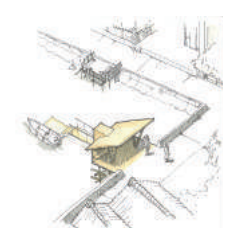
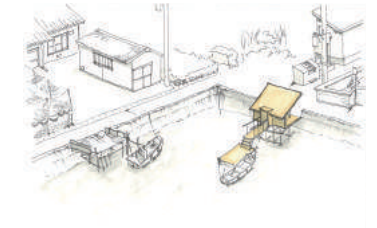
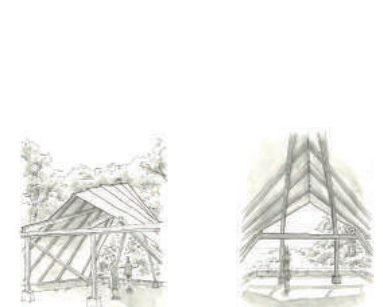
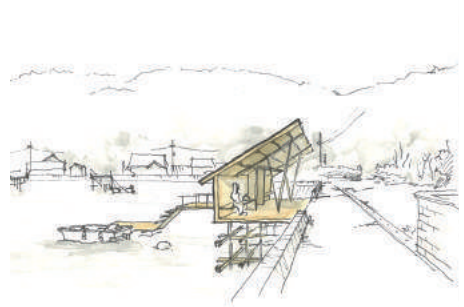
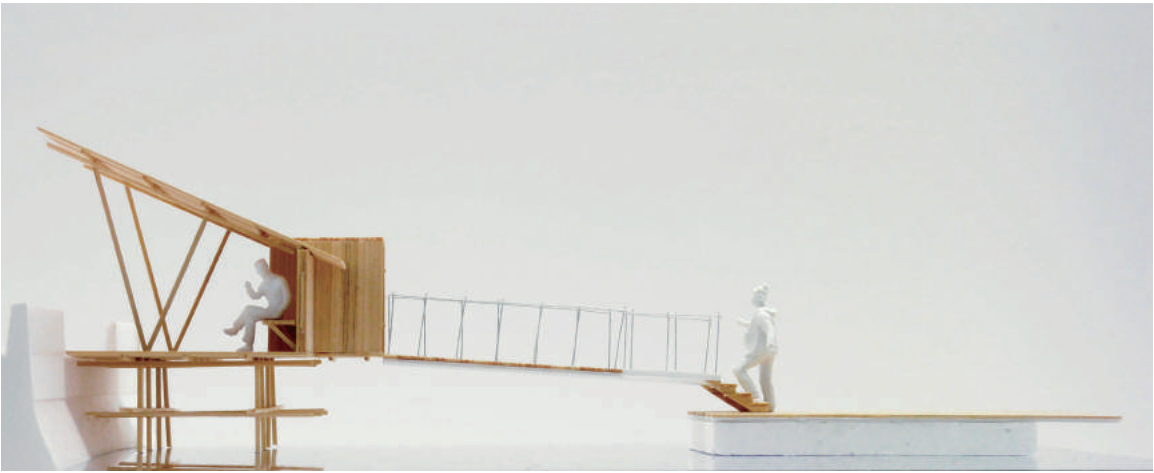
[奈留島キリスト教系集落マトリックス]



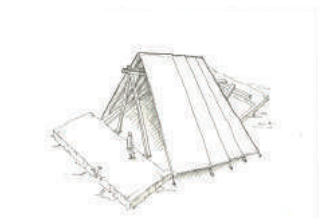
同じ島、同じキリスト教系集落でもこのように異なる。異なる集落に異なる集落の特徴をもってきて意味はない。



南越集落 船着き場
Nankoshi Syuuraku Funatsukiba



葛島集落 祈りの場
Kazurajima Prayer Space



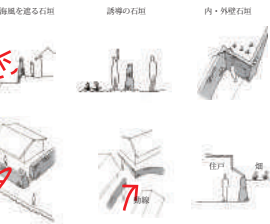
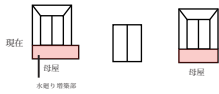
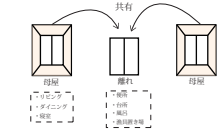
江上集落

Egamiyuunaku

江上集落の後方には山が迫り、平地に恵まれない自然条件のもと小規模な半農半漁を行っていた。

生業：地曳き網

[母屋と離れ]



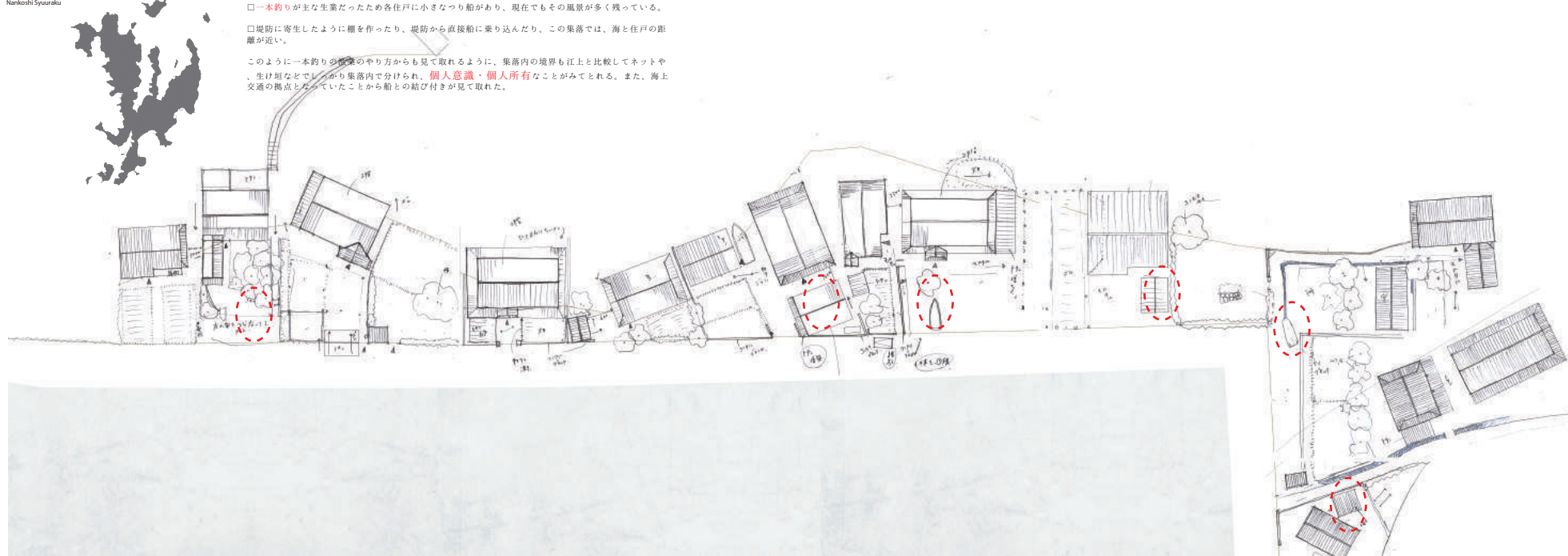
南越集落

Nankoshi Syuaraku

□一本釣りが主な生業だったため各住戸に小さなつり船があり、現在でもその風景が多く残っている。

□堤防に寄生したように棚を作ったり、堤防から直接船に乗り込んだり、この集落では、海と住戸の距離が近い。

このように一本釣りの需要のやり方からも見て取れるように、集落内の境界も江上と比較してネットや、生け垣などで集落内で分けられ、**個人意識・個人所有**なことがみてとれる。また、海上交通の拠点となっていたことから船との結び付きが見て取れた。



葛島集落

Kazurajima



葛島教会堂跡地

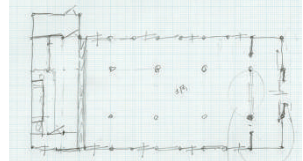
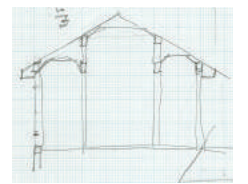
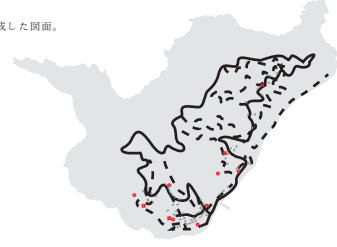
葛島教会堂跡地

□地曳き網という漁法は集落内全体で行うため、集落内の**共同意識**が強い。それが、建築にも離れと母屋という特徴がでています。畑なども個人で所有するというよりは、集落全体の財産という意識が強く現れています。

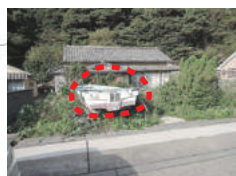
■ 母屋
■ 離れ

□葛島は昭和48年に離島の不便さ故に奈留島内に**集団移住**し、現在は**無人島**になっている。集団移住の際に島内にある建物の全てを解体し、現在では、石垣と建物の基礎部分が残っている。しかし無人島になった今でも年に3,4回元住民がこの島を訪れこの教会跡地でミサを行い現在でも葛島内の信仰が続いています。

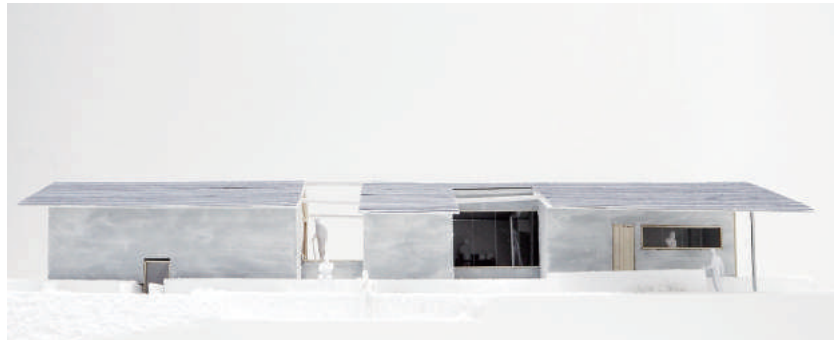
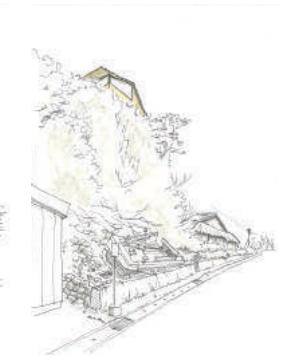
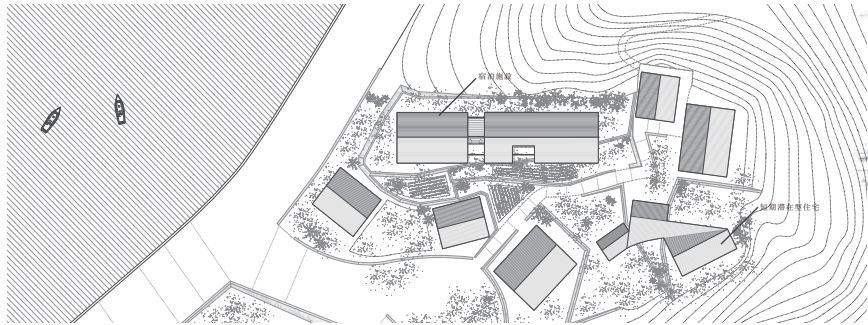
ヒアリングをもとに作成した図面。



ヒアリングからの図面



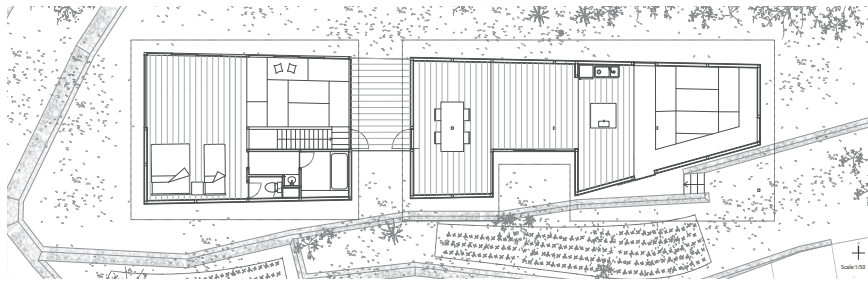
江上集落
1. 宿泊施設
Egamiyuanaku Guest house



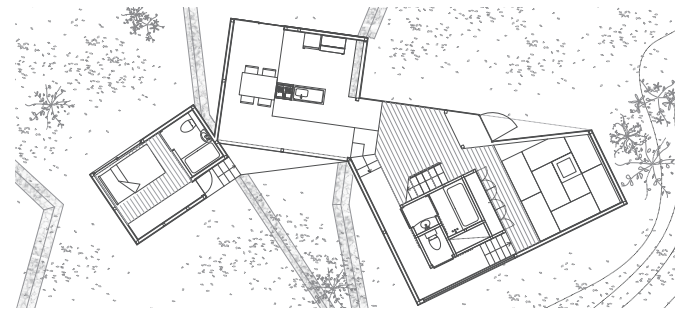
宿泊施設



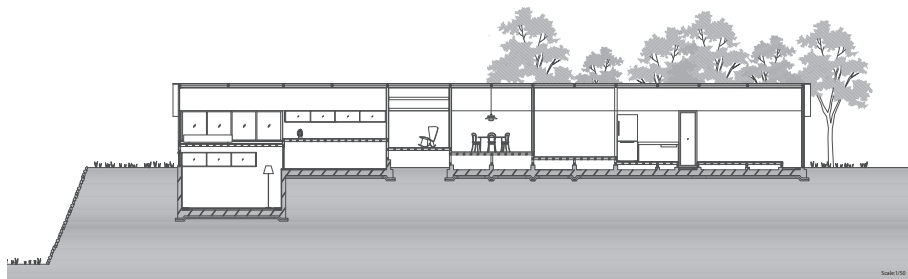
短期滞在型住宅



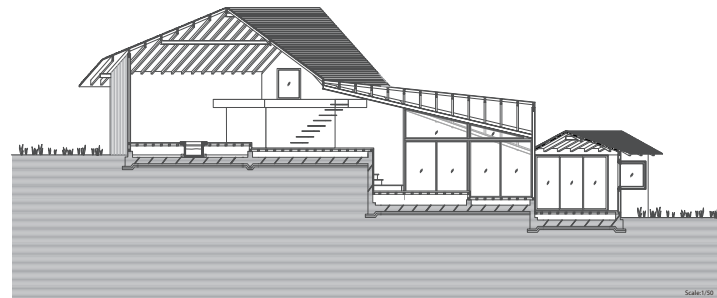
宿泊施設 平面図 Plan



短期宿泊施設 平面図 Plan



宿泊施設 断面図 Section



短期宿泊施設 断面図 Section